

## プログラム

受付開始 9:30~

開会の挨拶 10:00~10:05 日本薬史学会 2016 年会会長 岡田嘉仁

会長挨拶 10:05~10:10 日本薬史学会会長 折原 裕

口頭発表 1~4 10:10~11:10 (各 15 分) 座長：小清水敏昌・西川 隆

1. 経口抗凝固薬の歴史ーワルファリンと NOAC の比較  
高橋春男 (日本医薬情報センター)
2. 中国製ダイエット製品を契機とした未承認医薬品等による健康被害とその後の対策  
○ 齋藤充生<sup>1,2</sup>, 林 譲<sup>1</sup>, 矢島毅彦<sup>1</sup> (1ヘルスヴィジランス研究会、<sup>2</sup>日本医薬情報センター)
3. 松江藩雲州人参 (御種人参) 栽培の東西隣域への波及 - 三瓶山、伯耆大山 -  
成田研一 (島根県薬剤師会江津・邑智支部)
4. 戦後日本の薬事改革についての再検証  
赤木佳寿子 (昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座)

特別講演 11:15~12:15 座長：岡田嘉仁 (明治薬科大学)

ディオスコリデスの『薬物誌』  
岸本良彦 (明治薬科大学名誉教授)

昼休み休憩 12:15~13:30

理事会・評議員会 12:20~13:20

ポスター発表示説時間 13:30~14:20

特別講演・市民公開講座 14:30~15:40 座長：古屋英治 (呉竹学園東洋医学臨床研究所)

江戸時代の科学技術に見る日本の文化と心  
鈴木一義 (国立科学博物館 産業技術史資料情報センター長)

口頭発表 5~9 16:00~17:15 (各 15 分) 座長：船山信次・松崎桂一

5. 医薬のシンボル 蛇について  
石田純郎 (岡山大学医学部非常勤講師)
6. フランシス ケルシー博士 (Frances O. Kelsey, MD, PhD) の生涯から教えられるもの：使命感と責任感の醸成  
森本和滋 (日本薬史学会)

7. 近代医・薬学発祥史 10報 F.W.A.ゼルチュルナーとJ.B.トロムスドルフ  
辰野美紀（順天堂大学医学部医史学研究室）
8. 古代インドの薬学 『バウアー写本』 第2部におけるトリパラの処方について  
夏目葉子（日本薬史学会）
9. 医薬品の一般名に関する考察（5）：抗悪性腫瘍薬  
三澤美和（星薬科大学名誉教授）

**次年度年会会長挨拶 17:20~17:30**

日本薬史学会 2017 年会会長 船山信次（日本薬科大学）

**閉会の挨拶 17:30~17:35**

日本薬史学会 2016 年会実行委員長 馬場正樹

**懇親会 17:45~19:30**

**<ポスター発表>**

10. 明治36年の監獄薬剤師  
五位野政彦（東京海道病院）
11. 十二代田邊五兵衛の先駆的企業家活動  
安土昌一郎（法政大学大学院）
12. 『緒方洪庵の薬箱（大阪大学所蔵）』研究：第一の薬箱の現況  
○ 木村康人<sup>1</sup>、高浦(島田)佳代子<sup>2、3</sup>、小栗一輝<sup>2</sup>、楠木歩美<sup>2</sup>、井原香名子<sup>1</sup>、上田大貴<sup>1</sup>、高橋京子<sup>2、3</sup>（<sup>1</sup>大阪大学薬学部、<sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科、<sup>3</sup>大阪大学総合学術博物館）
13. 『緒方洪庵の薬箱（大阪大学所蔵）』研究：第二の薬箱の現況  
○ 上田大貴<sup>1</sup>、高浦(島田)佳代子<sup>2、3</sup>、小栗一輝<sup>2</sup>、楠木歩美<sup>2</sup>、井原香名子<sup>1</sup>、佐藤智紀<sup>2</sup>、奥菌彰吾<sup>1</sup>、中村朝実<sup>1</sup>、末元吹季<sup>1</sup>、木村康人<sup>1</sup>、高橋京子<sup>2、3</sup>（<sup>1</sup>大阪大学薬学部、<sup>2</sup>大阪大学大学院薬学研究科、<sup>3</sup>大阪大学総合学術博物館）
14. 医療人養成に向けたある物理学研究室の挑戦(第2報)  
串田一樹（昭和薬科大学 地域連携薬局イノベーション講座）
15. 老舗薬局に保管されていた医薬品からの歴史的考察  
松崎桂一（日本大学薬学部生薬学研究室）
16. ご発表取り消し  
○ Chang-Koo Shim, Jeong Hill Park, Jinwoong Kim and Eun Bang Lee  
(College of Pharmacy, Seoul National University)